

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	0	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	現国002-901 新編現代の国語（東京書籍）		

目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こそめスープ</li> <li>・ルリボシカミキリの青</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常や自然を題材とする文章から、作者の視点や表現の工夫に気づく。</li> <li>・身近な体験や観察から得られる気づきを、自分の言葉で表現する力を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来をつくる想像力</li> <li>・水の東西</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「未来をつくる」という観点から、想像力の意義を理解する。</li> <li>・自然環境や文化の違いを読み取り、多様な価値観について考える。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキマが育む都市の緑と生命のつながり</li> <li>・無彩の色</li> <li>・ハサミ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市や日常に潜む新しい視点を読み取り、多角的に物事を見る力を養う。</li> <li>・自然・色彩・道具を題材とした文章を比較し、表現の多様性を理解する。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋洗いの日々</li> <li>・森で染める人</li> <li>・動きを引き出す言葉の力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働やものづくりを通して、人間の生き方や表現との関わりを考える。</li> <li>・言葉や行為が相互に影響し合うことを理解する。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しさの発見</li> <li>・りんごのほっぺ</li> <li>・人生という旅の豊かな人間関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美や生活の価値を見出す視点を学ぶ。</li> <li>・人間関係や社会生活を題材とする文章を読み取り、自分の生活と結びつけて考える。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天動説はなぜ「正しかった」か？</li> <li>・真の自立とは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事実や思想に基づく文章を読み取り、論理の展開を理解する。</li> <li>・「正しさ」や「自立」といった普遍的テーマを多角的にとらえる。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	---	---	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※現代の国語のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① わかりやすい説明をしよう	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
② 分けて気づく 言葉の感覚	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	0	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	言文 701「新編言語文化」（東京書籍）		

目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。</li> </ul>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらさくらさくら</li> <li>・とんかつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の随想や小説を通して、日常を文学として表現する視点を学ぶ。</li> <li>・生活に根ざした題材から、日本語の表現の豊かさに気づく。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳あをめる【短歌】</li> <li>・雪の深さを【俳句】</li> <li>・冬が来た</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌や俳句を通して、日本の伝統的な定型詩の特色を理解する。</li> <li>・表現効果を理解し、作者のものの見方や感じ方について考える。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅生門</li> <li>・夢十夜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の舞台や状況を通して、当時の社会や人間観を考える。</li> <li>・登場人物の選択や行動に注目し、そこから自分なりの解釈を深める。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀山殿の御池に</li> <li>・奥山に、猫またといふものありて（徒然草）</li> <li>・枕草子</li> <li>・折々のうた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枕草子や徒然草の文体を味わい、観察眼やユーモアの表現を理解する。</li> <li>・現代の短詩（折々のうた）と比較し、日本語表現の継続性と変化を考える。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筒井筒</li> <li>・平家物語「木曾の最期」</li> <li>・奥の細道「旅立ち」「平泉」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌や物語を通して、日本古典文学の多様なジャンルを理解する。</li> <li>・松尾芭蕉の紀行文を読み、旅の文学的意義を考える。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読の基本</li> <li>・故事成語</li> <li>・絶句と律詩一七首</li> <li>・論語一八章</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読法を理解し、基本的な読み方を身につける。</li> <li>・故事成語や漢詩、論語から中国思想の背景を学ぶ。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	--	--	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※言語文化のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① 羅生門のその後を考える	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
② 百人一首と私～心に響く一首を見つけよう～	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	国語	科目	論理国語	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	論国701 新編論理国語		

目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深める。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話とは何か</li> <li>・世界をつくり替えるために</li> <li>・論理の力を鍛えよう</li> </ul>	評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取る。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少女たちの「ひろしま」</li> <li>・「ふしぎ」ということ</li> <li>・慣用語の意味</li> </ul>	文章の構成や内容を的確に捉えながら読んで、論じられている事柄について考える。		
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことと人間の知恵</li> <li>・ラップトップ抱えた「石器人」</li> <li>・文章を読み比べるために</li> </ul>	人間と知性をめぐる複数の評論を読んで、自身の考えを深める。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考の肺活量</li> <li>・安心について</li> <li>・言葉にするとき、しないとき</li> </ul>	表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握する。		
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱肉強食は自然の摂理か</li> <li>・複数の「わたし」</li> <li>・学びの窓をひらいて</li> </ul>	学問的な見地から書かれた評論を読んで、ものの見方を広げる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに「言葉」がある</li> <li>・楽しく働くこと、楽しく働くこと</li> <li>・知っておきたいカタカナ語</li> </ul>	さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深める。		

第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のペンギン</li> <li>・豊かさと生物多様性</li> <li>・「真の価値」を求めて</li> </ul>	論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉える。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の外から</li> <li>・カフェの開店準備</li> <li>・紛らわしい漢字</li> </ul>	体験に基づく文章を読み、表現に注意して筆者の考えを捉える。		
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡としてのアンドロイド</li> <li>・ロボットが隣人になるとき</li> <li>・的確に表現するために</li> </ul>	科学や哲学の見地から書かれた評論を読んで、人間について考えを深める。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉は「ものの名前」ではない</li> <li>・科学的「発見」とは</li> <li>・図表の読み取り方</li> </ul>	評論を読んでのちに理解し、論じられている物事への認識を深める。		
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識における作者性と構造化</li> <li>・もう一つの知性</li> <li>・現代を生きるために</li> </ul>	対比に注意して評論を読み、筆者の主張を的確に捉える。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンモノのおカネの作り方</li> <li>・未来のありか</li> <li>・困難な時代に</li> </ul>	具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	対話とは何か／世界をつくり替えるために／論理の力を鍛えよう	5/15
第2回	少女たちの「ひろしま」／「ふしぎ」ということ／慣用句の意味	
第3回	学ぶことと人間の知恵／ラップトップ抱えた「石器人」／文章を読み比べるために	6/15
第4回	思考の肺活量／安心について／言葉にするとき、しないとき	
第5回	弱肉強食は自然の摂理か／複数の「わたし」／学びの窓をひらいて	7/15
第6回	はじめに「言葉」がある／楽に働くこと、楽しく働くこと／知っておきたいカタカナ語	

第7回	最初のペンギン／豊かさと生物多様性／「真の価値」を求めて	9/15
第8回	物語の外から／カフェの開店準備／紛らわしい漢字	
第9回	鏡としてのアンドロイド／ロボットが隣人になるとき／的確に表現するために	10/15
第10回	言葉は「ものの名前」ではない／科学的「発見」とは／図表の読み取り方	
第11回	知識における作者性と構構性／もう一つの知性／現代を生きるために	11/15
第12回	ホンモノのおカネの作り方／未来のありか／困難な時代に	

スクーリング	
内容	実施期間
① 論理とは何か、論証する力	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
② 論理とは何か、論証する力	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	国語	科目	文学国語	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	文国701 文学国語（東京書籍）		

目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</li> <li>・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の窓</li> <li>・雨月物語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。</li> <li>・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山月記</li> <li>・窓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山月記を通して、人間の弱さや理想との葛藤を考察する。</li> <li>・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」は象徴するものについて考える。</li> </ul>		
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を生きる</li> <li>・詩と感情生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉と人間の生き方の関係を理解する。</li> <li>・詩を通して感情の表現方法を学び、言葉の力を実感する。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山椒魚</li> <li>・沖縄の手記から</li> <li>・鉄、竹、永訣の朝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代文学・随筆・詩を多角的に読み、人間存在の多様なとらえ方を考える。</li> <li>・戦争体験や自然観を題材とする作品を通して、歴史や社会と文学の関わりを理解する。</li> </ul>		
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硝子の駒</li> <li>・モードの変遷</li> <li>・こころ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係や社会変化を題材とする作品から、近代と現代の価値観を比較する。</li> <li>・「こころ」を通して人間の罪や責任について深く考察する。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学のふるさと</li> <li>・文学の未来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学の成り立ちや役割を理解する。</li> <li>・文学の未来について考え、自分にとっての文学の意味を言葉にする。</li> </ul>		

第7回	・ 鞆 ・ あの朝	・ 日常の中の不思議や記憶を題材にした作品を読み取り、人間の感情を探る。 ・ 身近な体験と文学表現との関わりを考える。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	・ 国語から旅立って ・ 書かれた風景の中へ	・ 言葉や文学と社会との関係について考察する。 ・ 風景描写の表現から、文学のもつ普遍性を理解する。		
第9回	・ 檸檬 ・ コンビニの母 ・ 夏の姿、帰途、小諸なる古城のほとり、金剛の露、平気	・ 「檸檬」をはじめとする近代文学の表現の新鮮さを味わう。 ・ 詩や随筆を比較し、多様な文学表現を読み解く。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	・ 空っぽの瓶 ・ クレールという女 ・ 父と暮せば	・ 戯曲や小説を読み、人物の心理や状況を多角的に考察する。 ・ 戦争や家族を題材とした文学を通して、人間の生き方を探る。		
第11回	・ 舞姫 ・ 演技する「私」	・ 近代文学の代表作を通して、日本近代化の光と影を考える。 ・ 自己表現や「演技」といったテーマを通じて、人間の複雑な心情を理解する。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	・ 映画の可能性のために ・ 葉桜と魔笛 ・ 蠅	・ 文学と映像芸術の関係について学ぶ。 ・ 近代から現代に至る文学の多様な表現を比較し、文学の可能性を探る。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	光の窓／雨月物語	5/15
第2回	山月記／窓	
第3回	言葉を生きる／詩と感情生活	6/15
第4回	山椒魚／沖縄の手記から／竹、永訣の朝	
第5回	硝子の駒／モードの変遷／こころ	7/15
第6回	文学のふるさと／文学の未来	

第7回	鞆／あの朝	9/15
第8回	国語から旅立って／書かれた風景の中へ	
第9回	檸檬／コンビニの母／夏の姿、帰途、小諸なる古城のほとり、金剛の露、平気	10/15
第10回	空っぽの瓶／クレールという女／父と暮せば	
第11回	舞姫／演技する「私」	11/15
第12回	映画の可能性のために／葉桜と魔笛／蠅	

スクーリング		
内容		実施期間
①	言葉のかけらで紡ぐショートワールド	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
②	言葉のかけらで紡ぐショートワールド	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	国語	科目	国語表現	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	国表702 国語表現（東京書籍）		

目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	表現とは何か／分かりやすく説明しよう（情報の整理・伝達）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の目的や役割を理解する。</li> <li>・情報を整理し、相手に分かりやすく伝える方法を学ぶ。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	身体で表現しよう／表現の窓（インプロの魅力ー先の見えにくい時代を生き抜くヒント）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体、声、動作を用いた非言語的表現を体験する。</li> <li>・即興表現（インプロ）を通して、柔軟な発想力と協働性を育む。</li> </ul>		
第3回	「問い」を考えよう／手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を深める「問い」を自ら立てる力を養う。</li> <li>・手紙文の形式を理解し、相手意識をもった文章を書く。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	「自分」を表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体験や価値観を題材に、自己を見つめ直す。</li> <li>・自分の思いを文章や口頭で効果的に表現する。</li> </ul>		
第5回	論理的な文章を書こう（小論文）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張、根拠、事例の関係を理解する。</li> <li>・論理的に文章を展開し、小論文形式でまとめる力を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	話し合う力をつけよう（ファシリテーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの進め方や役割を理解する。</li> <li>・他者の意見を引き出し、対話を通じて合意形成を図る力を育む。</li> </ul>		

第7回	情報活用力を身につけよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を収集、整理、評価する方法を学ぶ。</li> <li>ICTを含め、適切に情報を活用、発信するスキルを実践する。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	説得力のある提案をしよう (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の基本構成(導入・展開・結論)を理解する。</li> <li>聞き手を意識したプレゼンテーションを実践し、資料や話し方を工夫する。</li> </ul>		
第9回	表現を楽しもう(創作)	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩や物語などを自由に創作し、表現の楽しさを体験する。</li> <li>他者の作品を鑑賞し、表現の多様性を理解する。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	文の書き方(表記のルール) パラグラフィティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい表記(漢字・仮名・句読点)を確認する。</li> <li>パラグラフ構成を理解し、論理的で読みやすい文章を書く。</li> </ul>		
第11回	文の書き方(表記のルール) 報告書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的文書にふさわしい言葉遣いや形式を理解する。</li> <li>事実を正確、簡潔にまとめる報告書を書く力を身につける。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	同音異義語/敬語表現/四字熟語 物語・小説を作る(主人公の設定を作る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙を広げ、正しい敬語や四字熟語を使えるようにする。</li> <li>主人公の設定を工夫し、物語創作を通じて表現力を高める。</li> </ul>		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	表現とは何か/分かりやすく説明しよう(情報の整理・伝達)	5/15
第2回	身体で表現しよう/表現の窓(インプロの魅力—先の見えにくい時代を生き抜くヒント)	
第3回	「問い」を考えよう/手紙の書き方	6/15
第4回	「自分」を表現しよう	
第5回	論理的な文章を書こう(小論文)	7/15
第6回	話し合う力をつけよう(ファシリテーション)	

第7回	情報活用力を身につけよう	9/15
第8回	説得力のある提案をしよう（プレゼンテーション）	
第9回	表現を楽しもう（創作）	10/15
第10回	文の書き方（表記のルール）／パラグラフィティング	
第11回	文の書き方（表記のルール）／報告書の書き方	11/15
第12回	同音異義語／敬語表現／四字熟語／物語・小説を作る（主人公の設定を作る）	

スクーリング		
内容		実施期間
①	手紙の書き方	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
②	手紙の書き方	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	901 地理総合（東京書籍）		

目標	
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べることができる。また、課題の解決に向けて構想したり力や考察する力を養う。よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解をする態度を養う。	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	私たちが暮らす世界 地図や地理情報システムの役割	地軸の傾きや自転・公転による影響を理解できている。地図の種類を理解し、用途に応じた地図の利用を考察することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	資料から読み取る現代世界 生活文化の多様性と国際理解	ICTの発達について理解し、通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考察することができる。世界の貿易の変化と、地域経済圏について理解し、国際分業と産業の変化について考察することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	生活文化と自然環境①地形 生活文化と自然環境②気候	山地や河川、海岸について理解し、土地利用を持続可能な利用方法で考察することができる。待機の大循環や気温、降水量の地域差を理解し、それら与える影響について考察することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	生活文化と社会環境①産業 生活文化と社会環境②宗教・民族 地球環境問題 資源・エネルギー問題	食文化や工業などの多様性が生じる原因を考察することができる。世界の宗教分布について理解するとともに、宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解する。地球温暖化などの地球環境問題の現状を理解するとともに、解決に向けた取り組みを考察することができる。	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	人口問題 食料問題 居住・都市問題 民族問題・紛争と平和の構築 持続可能な社会の実現をめざして	現代の諸問題を的確に理解するとともに、地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。また、持続可能な地球を目指すための解決策を考察することができる。	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	日本の自然環境の特色 さまざまな自然災害と防災	日本列島の特徴を理解することができる。また過去の災害を教訓に身近な地域の自然災害の可能性を考えることができる。また、都市特有の災害などを理解するとともに、自助・公助お視点を養う。	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	----------------------------	---	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※地理総合のメディアレポートはありません		

スクーリング ※①～④の中から2つを選択し学習する。		
内容		実施期間
①	持続可能な都市の実現について考える	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	時差の実践	
③	世界遺産	
④	地域による言葉の違い	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	ー	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	901 歴史総合（東京書籍）		

目標
近現代の歴史の変化にかかわる諸事情について、時期や年代、推移など世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、歴史を理解するとともに、諸資料を活用し多面的・多角的に考察することができる。また、よりよい社会の実現に向けて主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	歴史と私たち 歴史の特質と資料 近現代化への問い アジアの繁栄と西洋近代の形成	日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的記録である遺物や文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察することができる。産業革命や国民国家の形成の背景に着目して、世界市場の形成や近代社会の形成を理解することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	世界の一体化と多様な近代化 近代化と現代的な諸課題	産業革命の影響、立憲制の広まりなどに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察することができる。明治維新は、どのような国際環境の中で起き、日本社会をどのように変えたのか理解することができる。産業革命から続く帝国主義について理解するとともに、日清戦争が東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのか理解することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と大衆社会	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察することができる。第一次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響などに着目し、国際協調体制の特徴などを理解する。ソヴィエト連邦やアメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	経済危機と第二次世界大戦 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	各国の世界恐慌への対応など、国際協調体制の動揺を理解することができる。また、第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響などに着目し、日本の国際社会への復帰を理解することができる。日中戦争やファシズムの膨張による世界の危機について理解することができる。冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きについて理解することができる。	7/16 ～ 9/15	9/15

第5回	グローバル化への問い 冷戦と世界経済	グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察することができる。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景や日本の高度経済成長期などを多面的・多角的に考察し、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解することができる。	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	世界秩序の変容と日本 現代的な諸課題の形成と展望	アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響など着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※歴史総合のメディアレポートはありません		

スクーリング ※①～④の中から2つを選択し学習する。		
	内容	実施期間
①	戦争	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	史料読解	
③	「同時多発テロ」と国際関係	
④	戦争を風化させないために	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	701 日本史探究（東京書籍）		

目標
我が国の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、現代世界とのつながりに着目しながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を的確にまとめ、多面的・多角的に考察することができる。また、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	先史社会の生活と文化 歴史資料と先史・古代の展望	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	古代社会の形成と展開	古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力が身につく。		
第3回	中世社会の成立 歴史資料と中世の展望	院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。また、資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	中世社会の展開	中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		

第5回	近世社会の形成 歴史資料と近世の展望	織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見直しをもった学習を展開できるようにする。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	幕藩体制の確立	近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		
第7回	近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	近代社会の幕開け 歴史資料と近現代の展望 近代的制度の導入と新しい国際関係	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近代の特色についての仮説を表現することを通じて、見直しをもった学習を展開できるようにする。また、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		
第9回	国民国家と資本主義の成立	近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	両大戦間期の日本 第二次世界大戦と日本	近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解するとともに、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。		

第11回	占領と改革 国際社会への復帰と高度経済成長	近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	アジア情勢の変化と経済大国日本 新しい国際秩序と日本の課題 現代の日本の課題の研究	近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、現代の政治や社会の枠組みを理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	先史社会の生活と文化、歴史資料と先史・古代の展望	5/15
第2回	古代社会の形成と展開	
第3回	中世社会の成立、歴史資料と中世の展望	6/15
第4回	中世社会の展開	
第5回	近世社会の形成、歴史資料と近世の展望	7/15
第6回	幕藩体制の確立	
第7回	近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	9/15
第8回	近代社会の幕開け、歴史資料と近現代の展望、近代的制度の導入と新しい国際関係	
第9回	国民国家と資本主義の成立	10/15
第10回	両大戦間期の日本、第二次世界大戦と日本	
第11回	占領と改革、国際社会への復帰と高度経済成長	11/15
第12回	アジア情勢の変化と経済大国日本、新しい国際秩序と日本の課題、現代の日本の課題の研究	

スクーリング ※①～⑧の中から2つを選択し学習する。	
内容	実施期間
① 韓国から来た人と知り合ったとき、韓国併合をどう語る？	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
② 原爆資料館は「実物」だけを展示するべきで、創作物は展示すべきではないのか？	
③ 律令制度下の土地制度と税制度について	
④ 日本近代史～大日本帝国から現代日本に至るまでの歴史	
⑤ 仏教の変遷、仏教とキリスト教迫害の関係性	
⑥ 国民国家と政治参加	
⑦ 近現代社会の展開	
⑧ 古代の仏教芸術	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	701 世界史探究（東京書籍）		

目標
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、現代世界とのつながりに着目しながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を的確にまとめ、多面的・多角的に考察することができる。また、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	古代文明の出現	人類の起源から古代文明の成立、さらに東アジアの初期国家形成に至る過程を理解し、自然環境と人間社会の関係を把握するとともに、文明の多様性と普遍性について考察できるようにする。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	西アジアと地中海周辺	古代オリエントの統一からギリシア・ローマ文明の展開、そして中世ヨーロッパ・イスラーム世界の成立に至るまでの歴史の大きな流れを理解する。さらに、政治制度・宗教・文化の変化を整理し、異なる文明の交流が世界史に果たした役割を考察することができる。		
第3回	南アジア 東南アジア 東アジアと中央ユーラシア	南アジア・東南アジア・東アジアにおける国家形成と帝国の発展を理解し、宗教や思想、文化が政治制度や社会に与えた影響を整理する。また、中国やインドの古代文明がその後の地域秩序に与えた歴史的意義について考察することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、古アメリカ イスラーム世界の拡大と繁栄	隋・唐の政治制度と文化の発展、アフリカ・アメリカ諸文明の形成、イスラーム世界の拡大と文明の多様性について理解する。加えて、宗教・経済・学問・文化の交流を通じて広域世界が成立した過程を把握し、その意義を考察することができる。		

第5回	中世ヨーロッパ	フランク王国の分裂から西ヨーロッパ封建社会の成立、教会改革と十字軍、商業・都市の発展、中世後期の危機と国王権の強化、さらにルネサンスに至る流れを理解する。あわせて、中世から近代へと移行する要因を多角的に考察することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	中華世界の変容とモンゴル帝国 インド洋海域世界の発展と東南アジア 大交易時代と世界の一体化	宋代から明代に至る中国史とモンゴル帝国の拡大、大航海時代と大交易時代の世界の形成を理解する。さらに、アジアとヨーロッパを結ぶ交流が活発化する過程を整理し、グローバル化の起点を考察できるようにする。		
第7回	ユーラシア諸帝国の繁栄 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国・清の発展を通じてアジア諸地域の繁栄を理解するとともに、宗教改革・主権国家体制・植民地経営を学習する。さらに、啓蒙専制や近世ヨーロッパの思想・文化に注目し、近代社会の成立につながる歴史的意義を考察できるようにする。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	国民国家と近代社会の形成	18～19世紀の産業革命とアメリカ独立・ラテンアメリカ独立、フランス革命とウィーン体制、自由主義・社会主義思想の発展を理解する。さらに、南北アメリカやヨーロッパ各国の動向を通じて近代国家形成の過程を考察することができる。		
第9回	世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	19世紀後半の産業資本主義と帝国主義体制の進展を理解するとともに、西アジア・南アジア・東南アジア・中国の変革を整理する。また、帝国主義に対する民族運動や国家建設の模索を把握し、近代世界の再編について考察できるようにする。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	第一次世界大戦から世界恐慌に至るまでの国際秩序の変化を理解し、戦後の各国体制やアジア・アフリカの民族運動の展開を整理する。さらに、戦争と平和、経済危機と国際協調のあり方について考察できるようにする。		

第11回	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 第二次世界大戦と戦後の東アジア	第二次世界大戦の展開と戦後秩序の形成を理解し、冷戦構造の成立とアジア・アフリカの民族独立運動を整理する。さらに、戦争と平和、植民地支配からの独立、国際秩序の変化について考察できるようにする。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	冷戦の世界化と国際制度 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 21世紀の地球的課題と人類社会	冷戦体制の成立からその変容と終結に至るまでの世界の動きを理解し、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸地域の独立や発展を整理する。また、現代世界における地球的課題やグローバル化の進展を把握し、人類社会の持続可能性について考察できるようにする。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	古代文明の出現	5/15
第2回	西アジアと地中海周辺	
第3回	南アジア、東南アジア、東アジアと中央ユーラシア	6/15
第4回	東アジアと中央ユーラシア、アフリカ、オセアニア、古アメリカ、イスラーム世界の拡大と繁栄	
第5回	中世ヨーロッパ	7/15
第6回	中華世界の変容とモンゴル帝国、インド洋海域世界の発展と東南アジア、大交易時代と世界の一体化	
第7回	ユーラシア諸帝国の繁栄、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	9/15
第8回	国民国家と近代社会の形成	
第9回	世界市場の形成とアジア諸国の変容、アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	10/15
第10回	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容、国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	
第11回	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦、第二次世界大戦と戦後の東アジア	11/15
第12回	冷戦の世界化と国際制度、冷戦の変容・終結と経済のグローバル化、21世紀の地球的課題と人類社会	

スクーリング ※①～⑥の中から2つを選択し学習する。	
内容	実施期間
① 韓国から来た人と知り合ったとき、韓国併合をどう語る？	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
② ヒトラーと大衆社会	
③ 貿易のグローバル化	
④ 時事問題から考える歴史と現代社会	
⑤ アメリカ独立戦争	
⑥ オリンピックから見た世界の近代史	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	公民	科目	公共	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	901 公共（東京書籍）		

目標
現代社会の諸問題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる概念を理解するとともに、多面的・多角的に考察し効果的にまとめる技能を身につける。また、合意形成や社会参画を見据えた議論する力を養い、公共的な空間に生きる人間としてのあり方生き方についてを自覚し、国民主権をになう公民としての態度を身につけることを目指す。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	青年期に生きる私たち 他者とともに生きる人間としてのあり方 公共的な空間における倫理	青年期の特徴について理解するとともに、自己形成の課題について考察することができる。キャリア開発や社会参画の視点からシティズンシップの意義について理解することができる。自己の幸福の追求や公共的な空間のあり方など、当時の思想家の考え方について理解し、多面的・多角的に考察することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	公共的な空間における基本原理 民主政治と私たち	民主主義について、国民主権の観点から理解することができる。法の支配や立憲主義の成立や意義を理解することができる。日本国憲法の三つの基本原理について理解するとともに、人権保障の広がりについて理解することができる。身近に存在する政治に気付くとともに、現代の民主主義の議題について考察することができる。三権分立について理解するとともに、日本の選挙制度と課題について考察することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	法の働きと私たち	社会規範としての道徳と法の違いについて理解する。また、法の適用と解釈について実際の事象と関連付けて理解することができる。私法や多様な契約について特色を考察するとともに具体例と関連付けて理解することができる。司法権の意義や三審制、違憲審査権などの人権保障とのかかわりについて実際の事象に関連付けて理解し、考察することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	現代社会で生きる私たち	企業の種類や活動について実際の事象と関連付けて理解することができる。市場経済における価格の働きや市場の失敗を理解し、政府との関わり方を考察することができる。中央銀行の役割と金融政策について実際の事象と関連付けて理解することができる。また、財政に関しても諸課題にむけ、多面的・多角的に考察することができる。社会保障の意義と歴史を理解し、現代の諸問題に向けて議論することができる。	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	私たちの職業生活	働くことの意義や労働市場の役割などについて、実際の事象と関連付けて理解するとともに、これからの職業選択とキャリア形成の課題について考察することができる。現代の諸問題に対し、多面的・多角的に考察することができる。	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	国際社会のなかで生きる私たち 持続可能な社会づくりに参画するために	国際社会の成立と特色について実際の事象と関連付けて理解することができる。国際連合が安全保障に果たす役割と課題について考察することができる。冷戦後の世界と日本の動きを理解し、平和に向けた国際関係の変化や今後の課題について考察することができる。貿易に伴う為替や国際金融の動向を理解するとともに、人々の生活におよぼす影響について理解する。	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	--------------------------------------	--	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※公共のメディアレポートはありません		

スクーリング ※①～④の中から2つを選択し学習する。		
内容		実施期間
①	囚人のジレンマ	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	国際政治の課題	
③	校則の存在意義を判例から読み解く	
④	核抑止	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	公民	科目	倫理	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	701 倫理（東京書籍）		

目標
現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、論理的に思考し、説明したり対話したりする力を養う。他者とともにによりよく生きる事故を形成しようとする態度を持ち、多面的・多角的に考察する力を養うことを目標とする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	人間とは何か 人間の心の動き 思考と対話 哲学すること ギリシャの思想	人生における青年期の位置づけや特徴を理解し、考察できる。人間の知的な活動の特徴を理解することにより、他社とともにによりよく生きる意思決定のあり方について考察することができる。さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習の手がかりとなる世界の在り方について考察することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	宗教と社会 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想 芸術	人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察することができる。とくに三大宗教について理解をするとともに、人間としての在り方を考察することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人論の思想	西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神から考察することができる。多様な思想家の思想を理解、他者と意見交換する中で、人間としての在り方生き方について思索することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	社会変革の思想 理性への疑念 人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかかわり	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在など、多様な思想家の思想を理解するとともに、多面的・多角的に考察することで、人間としての在り方生き方について思索することができる。	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	日本人の精神風土 仏教と日本人の思想形成 儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想	日本人の伝統的な自然観や宗教観の特質について、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することができる。仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか理解する。日本の近世史に関する基本的な理解ができている。	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の 自覚 現代の諸問題と倫理	日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について思索することができる。また、新しい思想を形成した近代の思想家について理解することができる。現代の倫理的な諸問題について理解するとともに、多面的・多角的に考察することができる。	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	---	--	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※倫理のメディアレポートはありません		

スクーリング ※①～⑤の中から2つを選択し学習する。		
内容		実施期間
①	思考実験	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	実存主義	
③	ジレンマの問題	
④	人間のあり方・動き	
⑤	日本人の精神風土と慣習	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	ー	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	701 政治・経済（東京書籍）		

目標
<p>社会の在り方にかかわる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を養う。また、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理	政府の役割や、社会契約説について理解するとともに、法が自分の生活にどのように関係しているか考察することができる。民主政治の諸原理や日本国憲法の特徴について理解することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	日本の政治機構 現代政治の特質と課題	国会・内閣・裁判所のしくみについて理解するとともに、日本においてどのような課題があり、解決することができるか考察することができる。日本の選挙制度の特徴や課題について理解するとともに、社会参加に向けた主体性を養うことができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	資本主義と社会主義の成立を理解するとともに、課題について考察することができる。また、各経済主体の相互関係について理解するとともに、市場機構の原理や金融・財政の日常の関わりを考察することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	日本経済の発展と現状 福祉社会と日本経済の課題	日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。また、日本経済が抱える諸問題の解決に向けて考察することができる。	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	現代日本の諸課題 現代の国際政治 複雑化する国際政治と日本	国際社会の秩序維持に向けた取り組みを理解するとともに、国際連合が抱える課題について考察することができる。第二次世界大戦や冷戦などを通じ、日本がどのような立場で取り組んでいたか理解することができる。	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題 国際社会の諸課題	貿易の意義を理解するとともに、先進国や発展途上国の関わり方について考察することができる。経済のグローバル化に伴いどのような課題を抱えているのか理解するとともに、解決に向けて考察することができる。	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	-------------------------------------	---	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※政治・経済のメディアレポートはありません		

スクーリング ※①～⑥の中から2つを選択し学習する。		
内容		実施期間
①	日本国憲法の基本原理	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	基本的人権	
③	働き方改革	
④	核兵器はなくすべきなのか？	
⑤	行動経済学	
⑥	資産形成	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学 I	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	—	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍 新数学 I（数 I 704）		

目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数と式、図形と計量、2次関数及びデータ分析についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理力を身に付けるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	整数の計算/小数・分数の計算/計算の利用/正負の数の計算	正負の数の必要性と意味を理解する。 正負の数の四則の混じった計算ができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	文字を使った式/多項式と単項式/多項式の計算/乗法公式/因数分解	正しく文字式を扱うことができる。 多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の計算ができる。 多項式を展開することができる。 乗法公式が利用できる。 因数分解の公式が利用できる。		
第3回	因数分解/展開/平方根/根号を含む式の計算/分母の有理化	$\times 2$ の係数が1以外の多項式を因数分解することができる。 多項式を展開、因数分解することができる。 平方根について理解し、根号を含む式の基本的な計算ができる。 分母の有理化を活用できる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	数の分類/分数と小数/1次方程式/不等式/不等式の性質/不等式の解/不等式の解き方	自然数、整数、有理数、無理数、実数について理解する。 有限小数になる分数を判断できる。循環小数を、記号を用いて表すことができる。 1次方程式を解くことができる。 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 不等式を解くことができる。 1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。		

第5回	2次方程式(解き方、解の公式)/1次関数とそのグラフ/2次関数とそのグラフ/グラフの平行移動	2次方程式を解くことができる。 身近な問題を解決することに、不等式を活用することができる。 関数の概念を理解する。 1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	2次関数とそのグラフ/グラフの平行移動/2次関数のグラフのまとめ	関数 $y=ax^2$ のグラフを $x$ 軸方向や $y$ 軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。		
第7回	2次関数のグラフ/2次関数の最大値・最小値/2次関数のグラフと2次方程式/2次関数のグラフと2次不等式/いろいろな2次不等式	2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用し、それらの値を求めることができる。 グラフと $x$ 軸の共有点の $x$ 座標を求めることができる。 2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 2次関数のグラフを利用して2次不等式を解くことができる。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	三角比(相似、三平方の定理、正弦、余弦、正接)/三角比の利用/三角比の相互関係/三角形の面積/正弦定理/余弦定理	相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。 三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 タンジェント、サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。 三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。 90°-Aの三角比の値を求めることができる。		
第9回	三角比(相互関係、三角形の面積、正弦定理、余弦定理、鋭角)/データの分析(階級値、度数、相対度数、累積相対度数、代表値)	三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	データの分析(分散と標準偏差、相関関係、相関係数、データに基づく考え方)/集合と論証	統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解し、目的やデータに応じて、度数分布表、ヒストグラムなどに表すことができる。		

第11回	命題と集合/命題と証明	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	必要条件/十分条件/必要十分条件/命題と証明/2次関数を利用した課題学習	命題の真偽と反例を考えることができる。 必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Iのメディアレポートはありません		

スクーリング		
内容	実施期間	
① 2次関数の平方完成	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月	
② 2次関数のグラフと平行移動		
③ 直角三角形と三角比		
④ 三角比の値（鋭角）		

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	—	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍 新数学Ⅱ（数Ⅱ 717）		

目標
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	二項定理/文字を含む有理式の計算	パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。 分数式とその通分、四則演算について理解し、その計算ができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	複素数の導入・計算/二次方程式論/解と係数の関係	複素数の演算や共役な複素数について理解する。 2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。		
第3回	剰余の定理/因数定理/絶対不等式（AM・GM）の利用	剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	内分点の座標/2点間の距離/直線の方程式/2直線の平行	座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。 直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点を与えられたときの直線の方程式を求めることができる。 2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。		

第5回	円の方程式/領域の図示/正弦曲線の導入	与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。	6/16 ~ 7/15	7/15
第6回	一般角/三角関数の定義/三角関数の相互関係/周期	三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。		
第7回	三角関数の加法定理・合成/弧度法	三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。	7/16 ~ 9/15	9/15
第8回	指数法則の有理数体への拡張/指数関数のグラフ/指数方程式	指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。		
第9回	対数関数/指数を用いて表された数の評価	対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。 対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。	9/16 ~ 10/15	10/15
第10回	記号 $f()$ の利用/極限の簡単な計算/導関数の定義/整式の微分	極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。 簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。		

第11回	3次関数のグラフと最大・最小/3次関数の利用	ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	整式の積分/面積計算	不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Ⅱのメディアレポートはありません		

スクーリング		
内容		実施期間
①	複素数の計算	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	解と係数の関係	
③	三角関数を含む方程式	
④	加法定理の応用	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	—	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍『数学Ⅲ Standard』（数Ⅲ 702）		

目標
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	分数関数とそのグラフ/無理関数とそのグラフ/逆関数と合成関数	分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ 無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフの概形を把握し活用することができる。 また、分数関数・無理関数のグラフの特徴と合成関数の意味を理解する。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	数列の極限/無限等比数列	数列の収束・発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。 無限等比数列が収束する条件を理解し、そのことを用いて数列の極限を調べることができる。		
第3回	無限級数/いろいろな関数と極限	無限級数について理解し、その収束・発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたりすることや無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	関数の連続性	指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べることができる。 関数の連続性及び中間値の定理について理解し、ある区間における実数解の存在を証明することができる。		

第5回	導関数/積・商の微分法/合成関数の微分法	導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができる。 また、導関数の基本的な性質を理解する。	6/16 ~ 7/15	7/15
第6回	三角関数の導関数/対数関数・指数関数の導関数/高次導関数	合成関数の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 対数関数の導関数と対数微分法を理解し、それを用いて、指数関数の導関数を求めることができる。		
第7回	接線の方程式/関数の増減	曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。また、媒介変数で表された関数の微分について理解し、導関数を媒介変数で表したり、媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。	7/16 ~ 9/15	9/15
第8回	第2次導関数とグラフ/最大・最小/方程式・不等式への応用/速度・加速度/近似式	曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、これまでに学習したことを用いているいろいろな関数のグラフの概形をかくことができる。		
第9回	不定積分/置換積分法	不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。 置換積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。	9/16 ~ 10/15	10/15
第10回	部分積分法/いろいろな関数の不定積分/定積分/定積分の置換積分と部分積分法	部分分数分解及び三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に直す公式について理解する。また、これらを用いて分数関数や三角関数を変形して、不定積分を求めることができる。		

第11回	定積分で表された関数/定積分と区分求積法/面積	区分求積法の考え方を理解し、和の極限值を求めることができる。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。また、その値を求めることができる。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	体積/曲線の長さとのり	立体の体積が定積分によって求められることを理解し、その値を求めることができる。 曲線の長さが定積分によって求められることを理解し、その値を求めることができる。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Ⅲのメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① 数列の極限	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
② 無限等比数列	
③ 微分係数と導関数	
④ 積・商の導関数	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学A	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍 新数学A（数A 704）		

目標
場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	場合の数（集合、集合の要素の個数、個数の数え方、和の法則、積の法則、順列、組合せ）/確率	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求めることができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	場合の数（和の法則、積の法則、順列、組合せ）/確率/排反事象/余事象/独立な試行の確率/反復試行の確率	順列・組合せの意味や性質を理解し、その総数を求めることができる。 試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	確率/排反事象/余事象/独立な試行の確率/反復試行の確率/条件つき確率/期待値	確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。 条件つき確率の意味を理解する。また、確率の乗法定理を理解し、活用できる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	期待値/平面図形の基礎（直線と角、多角形の角、三角形の合同と相似）/三角形の性質	平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。	7/16 ～ 9/15	9/15

第5回	三角形の性質（重心、外心、内心）角の二等分線と線分の比/円の接線/円周角の定理/円に内接する四角形/接弦定理/方べきの定理	三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	空間図形/10進法/2進法/ユークリッドの互除法/素因数分解/最大公約数と最小公倍数/魔法陣	10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Aのメディアレポートはありません		

スクーリング		
	内容	実施期間
①	場合の数	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
②	確率	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学B	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍 「数学B Standard」 (数B 702)		

目標
数列、統計的な推測、数学と社会生活について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	数列の項/一般項の表し方/ 等差数列	数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。 等差数列について関心を深め、一般項 $a_n$ を初項 $a$ 、公差 $d$ を使って表せることを理解する。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	等差数列の和/等比数列の 一般項・和	等差数列の初項から第 $n$ 項までの和の求め方に興味をもち、それが $n$ を用いて表せることを理解する。 等比数列について関心を深め、一般項 $a_n$ を初項 $a$ 、公比 $r$ を使って表せることを理解する。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	$\Sigma$ の計算/群数列	記号 $\Sigma$ の意味と性質を理解し、自然数の累乗の和を $\Sigma$ を用いて表すことができる。 階差数列や数列の和から一般項を求めたり、群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	数列の漸化式/漸化式からの 一般項の求め方/数学的 帰納法	数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱うことができる。 数学的帰納法について理解し、等式などの証明に利用できる。	7/16 ～ 9/15	9/15

第5回	統計調査/確率分布/平均・分散・標準偏差/二項分布/正規分布	確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。また、確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数Xの平均(期待値)や分散、標準偏差を求めることができる。	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	母集団/標本調査/標本調査からの母集団の推定/仮説検証	母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求めることができる。また、標本平均の分布と正規分布の関係を理解し、標本平均の分布から母平均を推定する方法を理解する。さらに、信頼度95%の信頼区間という考え方を理解し、母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Bのメディアレポートはありません		

スクーリング		
内容	実施期間	
① 等差・等比数列の和	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月	
② 漸化式から一般項を求める	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月	

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	数学	科目	数学C	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	—	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	東京書籍 「数学C Standard」 (数C 702)		

目標
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	平面上のベクトル/ベクトルの分解/ベクトルの成分	平面上のベクトルを図示する活動などを通して、ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また、実数の演算法則と関連付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	ベクトルの内積/位置ベクトル/ベクトル方程式	2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	空間のベクトル/空間の座標と空間のベクトル/空間のベクトルの内積/位置ベクトルと空間のベクトル	空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方を平面の場合から類推して統合的・発展的に考察することができる。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	放物線・楕円・双曲線/2次曲線と平行移動/2次曲線と直線/2次曲線と離心率	放物線、楕円、双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。	7/16 ～ 9/15	9/15

第5回	曲線の媒介変数表示/極座標と極方程式	曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	複素数平面/複素数の極形式/ド・モアブルの定理/2直線のなす角/複素数平面上の図形	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。 複素数の極形式を理解し、 $a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上的の回転移動との関係を理解する。	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※数学Cのメディアレポートはありません		

スクーリング		
内容	実施期間	
① 平面上のベクトル	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月	
② ベクトルの応用	関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月	
学習上の留意点		
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>	
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>	
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>	

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	科人901 改訂	科学と人間生活（東京書籍）	

目標
自然や科学技術と人間生活とのかかわりについて、身近な事物などを通して理解させ、科学に対する興味・関心を高める。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1編 1章 微生物とその利用 微生物の発見の歴史、発酵、食品・医薬品利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・微生物とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</li> <li>・微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	1編 2章 ヒトの生命現象 視覚、血糖、免疫、遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトの生命現象について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ヒトの生命現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</li> <li>・ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	2編 1章 材料とその利用 2章 医療と食品 金属、プラスチック、繊維、食品の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属やプラスチックの種類、性質および用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・材料とその再利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</li> <li>・材料とその再利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・衣料と食品について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</li> <li>・衣料と食品に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

<p>第4回</p>	<p>3編 1章 光の性質とその利用 2章 熱の性質とその利用 目に見える光、見えない光、熱のしくみ、熱エネルギー</p>	<p>・光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・光の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・熱の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・熱の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>7/16 ～ 9/15</p>	<p>9/15</p>
<p>第5回</p>	<p>4編 1章 自然景観と自然災害 自然景観の成り立ち、自然災害と防災</p>	<p>・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・自然景観と自然災害について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・自然景観と自然災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>9/16 ～ 10/15</p>	<p>10/15</p>
<p>第6回</p>	<p>4編 2章 太陽と地球 太陽と月がもたらすリズム、太陽が動かす大気・水</p>	<p>・太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・太陽と地球について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>10/16 ～ 11/15</p>	<p>11/15</p>

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	さまざまな微生物、微生物と人間生活のかかわり	5/15
第2回	ヒトの生命現象	6/15
第3回	金属、プラスチック、資源の再利用、衣料、食品	7/15
第4回	光の進み方とその基本的性質、熱とエネルギー、電磁波とその利用	9/15
第5回	自然災害と防災	10/15
第6回	太陽と月がもたらす地球のリズムと環境	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	生物：酵素反応を利用した「象の歯磨き粉」	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	化学：ペーパークロマトグラフィーによる色素の分離	
③	物理：ブラックライトを利用した紫外線に反応する物質の観察	
④	地学：気象や防災の科学	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	物基902 改訂新編 物理基礎（東京書籍）		

目標
自然や科学技術と人間生活とのかかわりについて、身近な事物などを通して理解させ、科学に対する興味・関心を高める。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1編 1章 直線運動の世界 等速直線運動、等加速度直線運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・運動の表し方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・運動の表し方に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	1編 2章 力と運動の法則 運動の法則 摩擦力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな力とそのはたらきについての観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・さまざまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	1編 3章 仕事とエネルギー 仕事 力学的エネルギー・保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・力学的エネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

第4回	2編 1章 熱 熱と温度 物質の三態 熱 効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・熱について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・熱に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	2編 2章 波 いろいろな波 定常波 波 の反射 音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	2編 3章 電気 電流 電気抵抗 直流と交 流 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気についての観察、実験などを通して、物質と電気抵抗、電気の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電気に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	等速直線運動、等加速度直線運動	5/15
第2回	力と運動の法則 摩擦力	6/15
第3回	仕事 力学的エネルギー保存	7/15
第4回	熱と温度 物質の三態 熱効率	9/15
第5回	波 定常波 波の反射 音	10/15
第6回	電流 電気抵抗 直流と交流 電磁波	11/15

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	物理	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	701 新編 物理(東京書籍)		

目標
物理の現象についての知識・理解を深めるとともに、物理現象について探究・解析ができることを目標とする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1-1 平面運動と放物運動 力のモーメント 相対速度 水平投射 斜方投射  1-2 剛体に働く力のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面内の運動についての観察、実験などを通して、曲線運動の速度と加速度、放物運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・平面内の運動について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・剛体のつり合いについての観察、実験などを通して、剛体のつり合う条件について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・剛体のつり合いについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・剛体のつり合いや平面運動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	1-3 運動量 運動量保存の法則 物体の衝突  1-4 円運動 円運動 円錐振り子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量と力積の関係を学び、実験を通して運動量保存の法則を理解するとともに、衝突や合体などの現象を科学的に考察し表現する。</li> <li>・円運動についての観察、実験などを通して、円運動をする物体のようすを表す方法やその物体にはたらく力などについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・円運動について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・円運動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

第3回	<p>1-5 単振動 単振動 単振り子</p> <p>1-6 万有引力 ケプラーの三法則</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単振動についての観察、実験などを通して、単振動の規則性や単振動をする物体のようすを表す方法、その物体にはたらく力などについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・単振動について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・単振動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・天体間に働く力の関係を学び、観察を通してケプラーの法則を理解するとともに、第一第二速度などの現象を科学的に考察し表現する。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	<p>1-7 気体の状態変化 ボイル・シャルルの法則 内部エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体分子の運動についての観察、実験などを通して、気体分子の運動と圧力、気体の内部エネルギーについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・気体分子の運動について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・気体分子の運動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		
第5回	<p>1-7 気体の状態変化 気体の状態方程式 熱効率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の状態変化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・気体分子の運動について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・気体分子の運動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	<p>2-1 波の性質</p> <p>2-2 音 波の性質 音</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水面波、音や光などの波動現象についての観察、実験などを通して、波の伝わり方とその表し方、波の干渉と回折について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・水面波、音や光などの波動現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・水面波、音や光などの波動現象に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・音についての観察、実験などを通して、音の干渉と回折、音のドップラー効果について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・音について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・音に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

第7回	2-3 光 可視光線 ヤングの実験 凸レンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光についての観察、実験などを通して、光の伝わり方、光の回折と干渉について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・光について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	3-1 電場と電位 クーロンの法則 コンデンサー 電場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気と電流についての観察、実験などを通して、電荷と電界、電界と電位、電気容量について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		
第9回	3-2 電流 電気抵抗 直流回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気と電流についての観察、実験などを通して、電気回路について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	3-3 電流と磁場 電流 磁場 コイル 磁束密度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流と磁界についての観察、実験などを通して、電流による磁界、電流が磁界から受ける力について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

第11回	3-4 電磁誘導と電磁波 電磁誘導 交流回路 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流と磁界についての観察、実験などを通して、電磁誘導、電磁波について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	4-1 電子と光 4-2 原子と原子核 光子 電子波 原子核	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子と光についての観察、実験などを通して、電子、粒子性と波動性について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電子と光について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・電子と光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・原子と原子核についての観察、実験などを通して、原子とスペクトル、原子核、素粒子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・原子と原子核について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・原子と原子核に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	剛体にはたらく力のつり合い 平面上の運動と放物運動	5/15
第2回	円運動と万有引力	
第3回	単振動 運動量	6/15
第4回	気体分子の運動と圧力	
第5回	気体の状態変化	7/15
第6回	波の性質	
第7回	音 光	9/15
第8回	電場と電位	
第9回	電流	10/15
第10回	電流と磁場	

第11回	電磁誘導と電磁波	11/15
第12回	電子と光 原子と原子核	

スクーリング		
内容		実施期間
①	波の性質	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	音波	
③	光波	
④	熱量の保存	
⑤	力のつり合い	
⑥	斜面、落体、水平投射運動	
⑦	重心を求める	
⑧	円運動	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	902 改訂新編 化学基礎（東京書籍）		

目標
化学の基本的な法則について理解し、計算問題を解けるようにすることを目標とする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1編 1、2章 純物質と混合物 単体 絶対温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。</li> <li>・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	2編 1章 電子配置 周期表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。</li> <li>・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	2編 2章 イオン 共有結合 構造式 金属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。</li> <li>・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

第4回	3編 1章 同位体 相対質量 物質質量 化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・物質質量と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質質量、化学反応式を見出して表現する。</li> <li>・物質質量、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	3編 2章 酸 塩基 中和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。</li> <li>・酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	3編 3章 酸化 還元 半反応式 電池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。</li> <li>・酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	純物質と混合物 単体 絶対温度	5/15
第2回	電子配置 周期表	6/15
第3回	イオン 共有結合 構造式 金属	7/15
第4回	同位体 相対質量 物質質量 化学反応式	9/15
第5回	酸 塩基 中和	10/15
第6回	酸化 還元 半反応式 電池	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	酸化還元反応	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	元素の種類と歴史	
③	ムラサキキャベツで酸塩基試験紙をつくろう	
④	分子模型を利用した物質の構造理解	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	化学	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	701 化学Vol.1理論編・702 化学Vol.2物質編(東京書籍)		

目標
化学の現象についての知識・理解を深めるとともに、自然現象について探究・解析ができることを目標とする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	物質の三態 状態図 ボイル・シャルルの法則・気体の状態方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の状態とその変化について、状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、状態変化について見いだして表現する。</li> <li>・状態変化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・気体の性質に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		
第2回	溶液 浸透圧 コロイド 金属結晶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶液と平衡について、溶解平衡および溶液とその性質を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・溶液と平衡について、観察、実験などを通して探究し、溶解平衡および溶液とその性質について見いだして表現する。</li> <li>・溶解平衡および溶液とその性質に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・物質の状態とその変化について、固体の構造を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、固体の構造について見いだして表現する。</li> <li>・固体の構造に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15

第3回	エネルギー図 熱化学方程式 ヘスの法則 結合エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学反応とエネルギーについて、化学反応と熱・光のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、化学反応と熱・光について見いだして表現する。</li> <li>・ 化学反応と熱・光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	イオン化傾向 電池 電気分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学反応とエネルギーについて、電池、電気分解のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、電池、電気分解について見いだして表現する。</li> <li>・ 電池、電気分解に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		
第5回	反応速度 触媒 化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学反応と化学平衡について、反応速度のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見いだして表現する。</li> <li>・ 反応速度に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	化学平衡 溶液平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見いだして表現する。</li> <li>・ 化学平衡とその移動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

第7回	周期表 非金属元素 典型金属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無機物質について、周期表と元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・無機物質について、観察、実験などを通して探究し、周期表と元素について見いだして表現する。</li> <li>・周期表と元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・無機物質について、典型金属元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型金属元素について見いだして表現する。</li> <li>・典型金属元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	遷移元素 無機物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無機物質について、遷移元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・無機物質について、観察、実験などを通して探究し、遷移元素について見いだして表現する。</li> <li>・遷移元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		
第9回	アルカン アルケン アルキン 定量分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。</li> <li>・有機化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・有機化合物について、炭化水素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。</li> <li>・炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	アルコール エーテル ケトン カルボキシ基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物について、官能基をもつ化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。</li> <li>・官能基をもつ化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

第11回	芳香族 フェノール 芳香族カルボン酸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物について、芳香族化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、芳香族化合物について見いだして表現する。</li> <li>・芳香族化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	高分子化合物 糖類 アミノ酸 タンパク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高分子化合物について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。</li> <li>・高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> <li>・天然高分子化合物や合成高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>		

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	物質の三態 気体の状態方程式	5/15
第2回	溶液 金属結晶	
第3回	エネルギー図 ヘスの法則 結合エネルギー	6/15
第4回	電池 電気分解	
第5回	反応速度 触媒	7/15
第6回	化学平衡 溶液平衡	
第7回	周期表 非金属元素 典型金属	9/15
第8回	遷移元素 無機物質	
第9回	アルカン アルケン アルキン	10/15
第10回	アルコール エーテル ケトン カルボキシ基	
第11回	芳香族 フェノール 芳香族カルボン酸	11/15
第12回	高分子化合物 糖類 アミノ酸 タンパク質	

スクーリング		
内容		実施期間
①	木炭で電池作り	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	ビタミンCの測定	
③	電気分解	
④	スライムの作成と探究	
⑤	ムラサキキャベツで絵を描こう（1）	
⑥	ムラサキキャベツで絵を描こう（2）	
⑦	光る液体を作ろう	
⑧	分子模型による物質の構造探究	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	生基 902 改訂新編 生物基礎（東京書籍）		

目標
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見地を養う。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1編 1章～2章 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の特徴について、生物の共通性と多様性のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物の共通性と多様性を見いだして表現する。</li> <li>・生物の共通性と多様性に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> <li>・生物の特徴について、生物とエネルギーのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物とエネルギーを見いだして表現する。</li> <li>・生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	2編 1章～2章 遺伝子とそのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。</li> <li>・遺伝子とそのはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> <li>・遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とタンパク質の合成との関係を見いだして表現する。</li> <li>・遺伝情報とタンパク質合成に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15

<p>第3回</p>	<p>3編 1章 体内環境の維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして表現する。</li> <li>・情報の伝達に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>6/16 ～ 7/15</p>	<p>7/15</p>
<p>第4回</p>	<p>3編 2章 体内環境を守るしくみ 免疫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫について、免疫のはたらきのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・免疫について、観察、実験などを通して探究し、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして表現する。</li> <li>・免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>7/16 ～ 9/15</p>	<p>9/15</p>
<p>第5回</p>	<p>4編 1章 植生の多様性と遷移 バイオームとその分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生と遷移について、植生と遷移のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。</li> <li>・植生と遷移に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>9/16 ～ 10/15</p>	<p>10/15</p>
<p>第6回</p>	<p>4編 2章 生態系と生物の多様性 生態系とその保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の種多様性を見いだすとともに、生態系のバランスと保全について表現する。</li> <li>・生態系とその保全に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>10/16 ～ 11/15</p>	<p>11/15</p>

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	5/15
第2回	遺伝子とそのはたらき	6/15
第3回	体内環境の維持	7/15
第4回	体内環境を守るしくみ	9/15
第5回	植生の多様性と遷移 バイオームとその分布	10/15
第6回	バイオームとその分布 生態系とその保全	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	煮干しの観察と解剖、スケッチ	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	栄養の化学／運動の前後の身体の変化	
③	DNAと核酸	
④	花粉症とアレルギー反応	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	理科	科目	生物	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	生物701 生物（東京書籍）		

目標
生物や生物現象への探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育て、生物学の概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	1編1章2章 生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> <li>・遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	1編3章 生物の系統と進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		

第3回	2編1章 細胞と物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	2編2章 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		
第5回	3編1章 遺伝情報とその発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	3編2章 発生と遺伝子発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		

第7回	3編3章 遺伝子を扱う技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。</li> <li>・ 遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	4編1章 動物の刺激の受容と反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。</li> <li>・ 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		
第9回	4編2章 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。</li> <li>・ 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	4編3章 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・ 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。</li> <li>・ 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		

第11回	5編1章2章 個体群と生物群集 生態系 の物質生産と物質循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。</li> <li>・生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	5編3章 生態系と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。</li> <li>・生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	生命の起源と生物の変遷	5/15
第2回	進化のしくみ	
第3回	生体物質と細胞 生命現象を支えるタンパク質	6/15
第4回	代謝とエネルギー	
第5回	DNAの構造と複製 遺伝情報の発現	7/15
第6回	有性生殖 動物の発生	
第7回	動物の発生 植物の発生	9/15
第8回	遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	
第9回	動物の刺激の受容と反応	10/15
第10回	動物の行動 植物の環境応答	
第11回	生物の多様性と生態学 個体群と生物群集	11/15
第12回	生態系の物質生産とエネルギーの流れ 生態系	

スクーリング		
内容		実施期間
①	顕微鏡の使い方と観察	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	顕微鏡による観察とスケッチ	
③	目の構造とペーパークラフト	
④	目の構造と錯視	
⑤	脳の構造とはたらき	
⑥	脳の構造とペーパークラフト	
⑦	DNAの抽出実験とセントラルドグマ	
⑧	DNAの抽出実験とセントラルドグマ	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	体育I	単位数	2
報告レポート	2	メディアレポート	8	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901 現代高等保健体育（大修館書店）		

目標	
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	スポーツの発祥と発展 スポーツの始まりと変遷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。</li> <li>・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。</li> <li>・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	スポーツの発祥と発展 スポーツが経済に及ぼす効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。</li> <li>・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	スポーツの始まりと変遷/文化としてのスポーツ/オリンピックとパラリンピックの意義	5/15
第2回	スポーツが経済に及ぼす効果/スポーツの高潔さとドーピング/スポーツと環境	6/15
第3回	体づくり運動について	7/15
第4回	マット運動・筋力トレーニングについて	
第5回	短距離走・リレー・バドミントンについて	9/15
第6回	水泳・ソフトボールについて	
第7回	バスケットボール・バレーボールについて	10/15
第8回	卓球・野球について	

スクーリング		
内容		実施期間
①	体育理論、各種種目実技	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	体育理論、各種種目実技	
③	体育理論、各種種目実技	
④	体育理論、各種種目実技	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	体育2	単位数	2
報告レポート	2	メディアレポート	8	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901 現代高等保健体育（大修館書店）		

目標
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	スポーツの発祥と発展 スポーツの高潔さとドーピング	・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	運動・スポーツの学び方 スポーツにおける技術と戦術	・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。	5/16 ～ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	スポーツの高潔さとドーピング/スポーツ環境/スポーツにおける技能と体力	5/15
第2回	スポーツにおける技術と戦術/技能上達過程と練習	6/15
第3回	ソフトボール・バドミントンについて	7/15
第4回	剣道について	
第5回	ダンス・バスケットボールについて	9/15
第6回	豊かなスポーツライフ・サッカーについて	
第7回	スポーツの始まりと変遷について	10/15
第8回	スポーツとのかかわり方について	

スクーリング		
内容		実施期間
①	体育理論、各種種目実技	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	体育理論、各種種目実技	
③	体育理論、各種種目実技	
④	体育理論、各種種目実技	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	体育3	単位数	2
報告レポート	2	メディアレポート	8	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901 現代高等保健体育（大修館書店）		

目標
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	運動・スポーツの学び方 効果的な動きのメカニズム	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	運動・スポーツの学び方 運動やスポーツでの安全確保	・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。	5/16 ～ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	効果的な動きのメカニズム/体カトレーニング	5/15
第2回	運動やスポーツでの安全確保	6/15
第3回	オリンピックについて	7/15
第4回	スポーツに関する職業について	
第5回	トレーニングについて	9/15
第6回	スキル・戦術・戦略について	
第7回	技能の上達過程について	10/15
第8回	技能の上達過程について	

スクーリング		
内容		実施期間
①	体育理論、各種種目実技	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	体育理論、各種種目実技	
③	体育理論、各種種目実技	
④	体育理論、各種種目実技	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	体育4	単位数	2
報告レポート	2	メディアレポート	8	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901 現代高等保健体育（大修館書店）		

目標
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	豊かなスポーツライフの設計 生涯スポーツの見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。</li> <li>・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	豊かなスポーツライフの設計 スポーツを推進する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。</li> <li>・自分が住んでいた身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	スポーツ科学のすすめ/スポーツに関わる職業/自分でスポーツライフを設計してみよう	5/15
第2回	日本のスポーツの推進・スポーツライフの特徴	6/15
第3回	スポーツ外傷について	7/15
第4回	年齢別スポーツのかかわり方について	
第5回	スポーツの振興について	9/15
第6回	スポーツと環境問題について	
第7回	豊かなスポーツライフについて	10/15
第8回	豊かなスポーツライフについて	

スクーリング		
内容		実施期間
①	体育理論、各種種目実技	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	体育理論、各種種目実技	
③	体育理論、各種種目実技	
④	体育理論、各種種目実技	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	保健I	単位数	1
報告レポート	3	メディアレポート	ー	スクーリング	1
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901	現代高等保健体育（大修館書店）	

目標	
生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	現代社会と健康 私たちの健康のすがた／生活習慣とその予防／運動・食事と健康／喫煙と健康／飲酒と健康／薬物乱用と健康 現代の健康問題とその対策について学びを深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。</li> <li>・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。</li> <li>・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。</li> <li>・生活習慣病の種類と要因について説明できる。</li> <li>・喫煙や飲酒、薬物について知識を身に付け正しい行動をとることができる</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	現代社会と健康 精神疾患の特徴・予防/現代の感染症／感染症の予防／性感染症・エイズとその予防/健康に関する意思決定・行動選択・環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。</li> <li>・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。</li> <li>・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。</li> <li>・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。</li> <li>・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。</li> <li>・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	現代社会と健康 交通事故の現状・発生要因・安全／応急手当の意義とその基本／心肺蘇生法／日常的な応急手当 応急処置の方法について学びを深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の実態と被害の実態について説明できる。</li> <li>・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。</li> <li>・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。</li> <li>・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。</li> <li>・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。</li> <li>・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。</li> <li>・応急手当の意義について説明できる。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※保健Iのメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① 現代の健康問題とその対策について学びを深める、健康問題の対策や変化を理解する、応急処置の方法について学びを深める	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	保健体育	科目	保健2	単位数	1
報告レポート	3	メディアレポート	ー	スクーリング	1
単位認定試験	1月	使用教科書	保体050-901	現代高等保健体育（大修館書店）	

目標	
生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	生涯を通じる健康 ライフステージと健康/思春期と健康/性意識と性行動の選択/ 妊娠・出産と健康/結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと健康の関連について説明できる。</li> <li>・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。</li> <li>・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。</li> <li>・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。</li> <li>・性意識の男女差について例をあげて説明できる。</li> <li>・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	生涯を通じる健康 中高年と健康/働くことと健康/労働災害と健康/健康的な職業生活/ 大気汚染と健康/水質汚濁と土壌汚染と健康/ゴミ処理と上下水道/食の安全/食品衛生に関わる活動/ /ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。</li> <li>・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。</li> <li>・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。</li> <li>・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。</li> <li>・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。</li> <li>・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	生涯を通じる健康 保健サービス・医療サービス・医薬品制度とその活用/ /さまざまな保険活動や社会的対策/健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行政の役割について例をあげて説明できる。</li> <li>・保健サービスの活用の例をあげることができる。</li> <li>・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。</li> <li>・さまざまな医療機関の役割について説明できる。</li> <li>・医薬品の正しい使用方法について説明できる。</li> <li>・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※保健2のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① 「性」について正しく理解をし、心身の相関について知る。 自分の健康を守るための知識を身に着ける。 自分の実生活で実践できる知識などを得る。	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書や報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	書道	科目	書道 I	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	書 I 70「書道 I」		

目標
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を目指す。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	目次 書写から書道へ 書写で学んできたこと／用具・用材／姿勢・執筆法	・書写と書道の違いを理解し、書道がもつ芸術的側面に気づく。 ・基本的な用具・用材の正しい扱い方を身につける。 ・正しい姿勢や筆の持ち方、運筆法を確認し、基礎的な筆づかいを習得する。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	漢字の書 漢字の成立と変遷／楷書の 特徴／表現を比べよう	・漢字の成り立ちと変遷を学び、文字文化の広がりを理解する。 ・楷書の特徴をとらえ、端正で安定した字形を表現できるようになる。 ・自らの書と手本を比較し、表現上の工夫や改善点に気づく。	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	漢字の書 行書の特徴／蘭亭序／風信帖	・行書の特徴を理解し、楷書との違いを体感する。 ・古典（蘭亭序・風信帖）を鑑賞し、歴史的背景や書風を学ぶ。 ・行書による表現の幅を広げ、流動感のある筆致を実践する。	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	漢字の書 草書／隸書／篆書	・草書・隸書・篆書の成り立ちと特徴を理解する。 ・各書体を体験し、漢字の多様な表現方法を知る。 ・書体ごとの造形美を比較し、自分なりの表現へのヒントを得る。	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	仮名の書 仮名の成立／変体仮名／連綿	・仮名の成立と日本独自の文字文化を理解する。 ・変体仮名や連綿の表現を体験し、仮名の美しさを実感する。 ・仮名特有の流麗な表現を習得し、作品づくりに活かす。	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	漢字仮名交じりの書 表現を比べよう／紙面構成	・漢字と仮名の調和を考え、紙面構成を工夫できるようになる。 ・表現を比較し、作品の構成や余白の活かし方に気づく。 ・総合的な書の表現力を高め、個性ある作品づくりに取り組む。	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	目次 書写から書道へ／書写で学んできたこと／用具・用材／姿勢・執筆法	5/15
第2回	漢字の書／漢字の成立と変遷／楷書の特徴／表現を比べよう	6/15
第3回	漢字の書／行書の特徴／蘭亭序／風信帖	7/15
第4回	漢字の書／草書／隸書／篆書	9/15
第5回	仮名の書／仮名の成立／変体仮名／連綿	10/15
第6回	漢字仮名交じりの書／表現を比べよう／紙面構成	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	書の成立を理解しよう	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	基本の筆遣いを学ぼう	
③	書の表現方法を学ぼう	
④	書を実際に表現してみよう	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画（シラバス）

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	「All Aboard! English Communication I Revised」 (C I 002-901)		

目標
<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Pre-Lesson1-2 be 動詞、一般動詞	アルファベットの決まりごと、教室で使う表現、辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを理解している。 be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	Lesson1 過去形	動詞の過去形の理解をもとに、世界の朝食を紹介するスピーチの内容を読み取る技能を身につけている。		
第3回	Lesson2 進行形	進行形〈be 動詞+動詞の-ing 形〉の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチの内容を読み取る技能を身につけている。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	Lesson3 助動詞	助動詞 can、will の理解をもとに、愛馬との生活について話す布施蒼依さんのインタビュー記事の内容を読み取る技能を身につけている。		
第5回	Lesson4 To 不定詞	to 不定詞〈to+動詞の原形〉の理解をもとに、海外の観光地について紹介するメール文や、日本のおすすめの場所を紹介する文章の内容を読み取る技能を身につけている。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	Lesson5 動名詞 Reading1	動名詞〈動詞の-ing 形〉の理解をもとに、高校のユニークな取り組みについて紹介する記事や、将来の夢について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。		

第7回	Lesson6 受け身	受け身〈be 動詞+過去分詞〉の理解をもとに、好きな絵について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	Lesson7 比較表現	比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉の理解をもとに、アンネ・フランクが生きた時代と彼女の生活や日記を紹介する文章の内容を読み取る技能を身につけている。		
第9回	Lesson8 名詞を後ろから説明する分詞	現在完了形〈have[has]+過去分詞〉の理解をもとに、ロボットカフェを紹介する実況中継や、ロボットが学校で授業を行うことについて書かれた記事の内容を読み取る技能を身につけている。	9/16 ～ 10/15	10/15
第10回	Lesson9 関係代名詞	名詞を後ろから説明する分詞の理解をもとに、ゴーストギアが海の生物に与える影響とその解決策について紹介する記事の内容を読み取る技能を身につけている。		
第11回	Lesson10 関係代名詞	関係代名詞 who、which の理解をもとに、第二次世界大戦で疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助などについて紹介する文章の内容を読み取る技能を身につけている。	10/16 ～ 11/15	11/15
第12回	Reading2	英語で書かれた Short Stories の内容を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。 英語で書かれた Mujina の内容を理解し、Mujina の内容を読み取る技能を身につけている。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	Pre-Lesson1-2 be 動詞、一般動詞	5/15
第2回	Lesson1 過去形	
第3回	Lesson2 進行形	6/15
第4回	Lesson3 助動詞	
第5回	Lesson4 To 不定詞	7/15
第6回	Lesson5 動名詞、Reading1	
第7回	Lesson6 受け身	9/15
第8回	Lesson7 比較表現	
第9回	Lesson8 名詞を後ろから説明する分詞	10/15
第10回	Lesson9 関係代名詞	
第11回	Lesson10 関係代名詞	11/15
第12回	Reading2	

## スクーリング

内容		実施期間
①	動詞の過去形、進行形	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	助動詞	
③	To不定詞	
④	動名詞	
⑤	受け身	
⑥	比較表現	
⑦	名詞を後ろから説明する分詞	
⑧	関係代名詞	

## 学習上の留意点

報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

<p>報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>
--

2026 年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画（シラバス）

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	「All Aboard! English Communication II」(CⅡ701)		

目標	
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Lesson1 関係代名詞 what	関係代名詞 what の理解をもとに、SNS にアップされた海外旅行の報告の内容を読み取る技能を身につける。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	Lesson2 比較表現〈more〉 〈the most〉	比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドや、Tシャツについての対話の内容を読み取る技能を身につける。		
第3回	Lesson3 it を用いた文 〈It is … (for —) to ~〉 〈It is … that ~〉	it を用いた文〈It is … (for —) to ~〉〈It is … that ~〉の理解をもとに、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの内容を読み取る技能を身につける。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	Lesson4 間接疑問文	間接疑問文の理解をもとに、ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の内容を読み取る技能を身につける。		
第5回	Lesson5 to 不定詞	to 不定詞を含む表現の理解をもとに、歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の内容を読み取る技能を身につける。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	Reading1	英語で書かれた Mujina の内容を理解し、内容を読み取る技能を身につける。		
第7回	Lesson6 動詞の目的語になる if 節	動詞の目的語になる if 節の理解をもとに、高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や、京野菜について書かれたポスターの記事の内容を読み取る技能を身につける。	7/16 ～ 9/15	9/15
第8回	Lesson7 関係副詞 where、when	関係副詞 where、when の理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について書かれた話の内容を読み取る技能を身につける。		

第9回	Lesson8 知覚動詞	知覚動詞の理解をもとに、生物模倣についてのオンライン講演の授業や、痛くない注射針について書かれた記事の内容を読み取る技能を身につける。	9/16 ~ 10/15	10/15
第10回	Lesson9 使役動詞	使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策についての雑誌の記事や、カカオ農園での児童労働の問題についての討論の内容を読み取る技能を身につける。		
第11回	Lesson10 分詞構文	分詞構文の理解をもとに、医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯を紹介する記事の内容を読み取る技能を身につける。	10/16 ~ 11/15	11/15
第12回	Reading2	自分たちで結末を考えた、英語で書かれた Bear' s Pie の内容を理解している。また、登場人物の気持ちが聞いている者に伝わるように、朗読する知識を身につける。 英語で書かれた Bear' s Pie の内容を読み取り、物語の結末を考え、配役を決めて、朗読劇を演じる技能を身につけている。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	Lesson1 関係代名詞 what	5/15
第2回	Lesson2 比較表現〈more〉〈the most〉	
第3回	Lesson3 it を用いた文〈It is … (for —) to ~〉〈It is … that ~〉	6/15
第4回	Lesson4 間接疑問文	
第5回	Lesson5 to 不定詞	7/15
第6回	Reading1 Mujina	
第7回	Lesson6 動詞の目的語になる if 節	9/15
第8回	Lesson7 関係副詞 where、when	
第9回	Lesson8 知覚動詞	10/15
第10回	Lesson9 使役動詞	
第11回	Lesson10 分詞構文	11/15
第12回	Reading2 Bear's Pie	

スクーリング

内容		実施期間
①	Lesson1、7 関係代名詞 what、関係副詞 where、when	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	Lesson2 比較表現〈more〉〈the most〉	
③	Lesson3 it を用いた文 〈It is … (for —) to ~〉 〈It is … that ~〉	
④	Lesson4 間接疑問文	
⑤	Lesson5 to 不定詞	
⑥	Lesson6 動詞の目的語になる if 節	
⑦	Lesson8-9 知覚動詞、使役動詞	
⑧	Lesson10 分詞構文	

学習上の留意点

報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法

<p>報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら 3 つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び 5 段階評定を決定する。</p>
--

2026年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画（シラバス）

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
報告レポート	12	メディアレポート	12	スクーリング	8
単位認定試験	1月	使用教科書	「All Aboard! English Communication Ⅲ」(CⅢ701)		

目標	
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Lesson1 to不定詞／動名詞	to不定詞／動名詞の理解をもとに、アントニオ・ガウディが設計した建築物の概念や特徴についての紹介や、したいこと好きなことについての対話の内容を聞き取る技能を身につけている。	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	Lesson2 現在完了形	現在完了形の理解をもとに、北海道の野生動物観察ツアーのガイドによるエゾモモンガやアイヌの人々についての説明や、経験や継続、完了した動作などについての対話の内容を聞き取る技能を身につけている。		
第3回	Lesson3 使役動詞	使役動詞の理解をもとに、衣服の働きと自己表現としてのファッションについて考える記事や、「～に…させる」という写真の状況についての説明の内容を聞き取る技能を身につけている。	5/16 ～ 6/15	6/15
第4回	Lesson4 受け身	受け身の理解をもとに、コオロギを使用する昆虫食についての対話や、イラストについて受け身を用いて話される対話の内容を聞き取る技能を身につけている。		
第5回	Lesson5 関係代名詞 who、which、that	関係代名詞 who、which、that の理解をもとに、マダガスカルの子供と人々の生活についての紹介や、人や物について関係代名詞を用いて説明する対話の内容を聞き取る技能を身につけている。	6/16 ～ 7/15	7/15
第6回	Reading1	英語で書かれた The Fun They Had の内容を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。		

第7回	Lesson6 関係代名詞 (who、 which) の非制限用法	関係代名詞 (who、 which) の非制限用法の理解をもとに、古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑についての紹介や、人や物についての説明の内容を聞き取る技能を身につけている。	7/16 ~ 9/15	9/15
第8回	Lesson7 比較表現を用いた文の形・意味を理解している。	比較表現の理解をもとに、地球温暖化と再生可能エネルギー、アイスランドとカナダの電力発電、ヨーロッパの風力発電量などについて話されるプレゼンテーション、スピーチ、対話の内容を聞き取る技能を身につけている。		
第9回	Lesson8 名詞を後ろから説明する分詞を用いた文	名詞を後ろから説明する分詞の理解をもとに、原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて考える記事や、人や物について分詞を用いて説明する対話の内容を聞き取る技能を身につけている。	9/16 ~ 10/15	10/15
第10回	Lesson9 仮定法過去を用いた文	仮定法過去の理解をもとに、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについての、海外の高校生へ向けたオンライン発表や、宇宙旅行に行けるとしたら何をしたいかということについての説明の内容を聞き取る技能を身につけている。		
第11回	Lesson10 関係代名詞 whose を用いた文	関係代名詞 whose の理解をもとに、人種差別の壁を越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンについて紹介する記事や、関係代名詞 whose を用いた人や物についての説明の内容を聞き取る技能を身につけている。	10/16 ~ 11/15	11/15
第12回	Reading2	英語で書かれた Table for Two の内容を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。		

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	Lesson1 to 不定詞／動名詞	5/15
第2回	Lesson2 現在完了形	
第3回	Lesson3 使役動詞	6/15
第4回	Lesson4 受け身	
第5回	Lesson5 関係代名詞 who、which、that	7/15
第6回	Reading1	
第7回	Lesson6 関係代名詞 (who、which) の非制限用法	9/15
第8回	Lesson7 比較表現	
第9回	Lesson8 名詞を後ろから説明する分詞を用いた文	10/15
第10回	Lesson9 仮定法過去を用いた文	
第11回	Lesson10 関係代名詞 whose を用いた文	11/15
第12回	Reading2	

スクーリング		
内容		実施期間
①	Lesson1 to 不定詞／動名詞、Lesson2 現在完了形	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	Lesson3 使役動詞 Lesson4 受け身	
③	Lesson5 関係代名詞 who、which、that	
④	Reading2	
⑤	Lesson6 関係代名詞 (who、which) の非制限用法	
⑥	Lesson7 比較表現 Lesson8 名詞を後ろから説明する分詞を用いた文	
⑦	Lesson9 仮定法過去を用いた文 Lesson10 関係代名詞 whose を用いた文	
⑧	Reading2	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

#### 評価の方法

報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら 3 つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び 5 段階評定を決定する。

2026年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画

教科	英語	科目名	論理・表現 I	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」(論 I 701)		

目標
<p>多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。</li> <li>2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。</li> <li>3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。</li> </ol>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Unit 1 : Lesson 1~3	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 褒める、勧める、断るときの表現</li> <li>② 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現</li> <li>③ 身近な人を紹介する、読み手の注意を引くとき</li> </ol>	4/15 ~ 5/15	5/15
第2回	Unit 1 : Lesson 4~6	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現</li> <li>② 描写するときの表現</li> <li>③ 希望を述べる、理由を述べるときの表現</li> </ol>	5/16 ~ 6/15	6/15
第3回	Unit 1 : Lesson 7~9	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現</li> <li>② 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現</li> <li>③ 映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現</li> </ol>	6/16 ~ 7/15	7/15
第4回	Unit 1 : Lesson 10~12	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 謝る、許す、励ますときの表現</li> <li>② 共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案するときの表現</li> <li>③ 要望や主張を述べる、理由を述べるときの表現</li> </ol>	7/16 ~ 9/15	9/15

第5回	Unit 2 : Lesson 1～5	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <p>① 理由を述べる、例を挙げるときの表現</p> <p>② 相手の意見に反駁する、相手の意見を引用するときの表現</p> <p>③ できごとを生き生きと描写する、経験からアドバイスをするときの表現</p> <p>④ ルールや手順を順序立てて説明する、読み手の知識に合わせて説明するときの表現</p>	9/16 ～ 10/15	10/15
第6回	Unit 2 : Lesson 6～8	<p>次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける</p> <p>① 事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明するときの表現</p> <p>② 利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるとき表現</p> <p>③ 自分の主張の理由・根拠を説明する、理由を要約して述べるときの表現</p> <p>④ 人の発言を直接引用する、条件を出して意見を述べる、説得するときの表現</p>	10/16 ～ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	<p>次の表現の形・意味・用法を理解する。</p> <p>① 褒める、勧める、断るとき</p> <p>② 提案する、依頼する、道順を説明するとき</p> <p>③ 身近な人を紹介する、読み手の注意を引くとき</p>	5/15
第2回	<p>次の表現の形・意味・用法を理解する。</p> <p>① 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするとき</p> <p>② 描写するとき</p> <p>③ 希望を述べる、理由を述べるときの表現</p>	6/15
第3回	<p>次の表現の形・意味・用法を理解する。</p> <p>① 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現</p> <p>② 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現</p> <p>③ 映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現</p>	7/15
第4回	<p>次の表現の形・意味・用法を理解する。</p> <p>① 謝る、許す、励ますときの表現</p> <p>② 共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案するときの表現</p> <p>③ 要望や主張を述べる、理由を述べるとき</p>	9/15

第5回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 理由を述べる、例を挙げるときの表現 ② 相手の意見に反駁する、相手の意見を引用するときの表現 ③ できごとを生き生きと描写する、経験からアドバイスをするときの表現 ④ ルールや手順を順序立てて説明する、読み手の知識に合わせて説明するときの表現	10/15
第6回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明するときの表現 ② 利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるとききの表現 ③ 自分の主張の理由・根拠を説明する、理由を要約して述べるときの表現 ④ 人の発言を直接引用する、条件を出して意見を述べる、説得するときの表現	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	Unit1 Lesson1、2、3、4、5、6	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	Unit1 Lesson7、8、9、10、11、12	
③	Unit2 Lesson1、2、3、4、5	
④	Unit2 Lesson6、7、8	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

評価の方法
<p>報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。</p>

2026年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画（シラバス）

教科	英語	科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	「NEW FAVORITE English Logic and Expression II」（論Ⅱ701）		

目標

多様な表現を用い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、気持ちを詳しく書いたり話したりして伝達できる。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Unit 1 Lessons 1-4 未来表現、可算名詞・不可算名詞、受動態／Could you...?、命令文／現在完了形と過去形、to不定詞と動名詞／冠詞・人称代名詞、should と had better	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 訂正する、心配する、感謝するときの表現 ② 驚く、繰り返す、言い換えるときの表現 ③ 注意を引く、同意を求めるときの表現 ④ 望む、褒めるときの表現	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	Unit 1 Lessons 5-8 現在形と現在進行形、現在完了形と過去形／後置修飾、to不定詞と動名詞／未来表現	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 誘う、説明するときの表現 ② 聞き直す、依頼するときの表現 ③ 要約する、言い換えるときの表現 ④ 困ったことを伝える・説明する、控えめに依頼するなどの表現	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	Unit 1 Lessons 9-12 how や why を用いた文／前置修飾、後置修飾／使役動詞、to不定詞と動名詞	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 依頼する、提案するときの表現 ② 仮定する、反対するときの表現 ③ 報告する、比較して説明するときの表現 ④ 説明する、理由を述べる、仮定するときの表現	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	Unit 2 Lessons 1-3 仮定法／to不定詞と動名詞／否定語の使い方	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 推論する、賛成・反対するときの表現 ② 主張する、推論する、賛成・反対するときの表現 ③ 推論する、説得するときの表現	7/16 ～ 9/15	9/15
第5回	Unit 2 Lessons 4-5 後置修飾、受動態／現在完了形と過去形／and、but、so	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 報告する、望むときの表現 ② 説明する、主張する、提案するときの表現	9/16 ～ 10/15	10/15

第6回	Unit 2 Lessons 6-8 名詞と無生物主語／分詞構文／名詞と無生物主語 (2)	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを書く基本的な技能を身につける ① 仮定する、推論するときの表現 ② 比較する、類似点と相違点を説明するときの表現 ③ 主張する、説得するときの表現	10/16 ～ 11/15	11/15
-----	---	---	---------------------	-------

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 訂正する、心配する、感謝するときの表現 ② 驚く、繰り返す、言い換えるときの表現 ③ 注意を引く、同意を求めるとき表現 ④ 望む、褒めるとき表現	5/15
第2回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 誘う、説明するときの表現 ② 聞き直す、依頼するときの表現 ③ 要約する、言い換えるときの表現 ④ 困ったことを伝える・説明する、控えめに依頼するなどの表現	6/15
第3回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 依頼する、提案するときの表現 ② 仮定する、反対するときの表現 ③ 報告する、比較して説明するときの表現 ④ 説明する、理由を述べる、仮定するときの表現	7/15
第4回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 推論する、賛成・反対するときの表現 ② 主張する、推論する、賛成・反対するときの表現 ③ 推論する、説得するときの表現	9/15
第5回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 報告する、望むときの表現 ② 説明する、主張する、提案するときの表現	10/15
第6回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 仮定する、推論するときの表現 ② 比較する、類似点と相違点を説明するときの表現 ③ 主張する、説得するときの表現	11/15

### スクーリング

内容		実施期間
①	日常生活に関する英語の表現を用いた演習・実践活動	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	手紙作法を用いて実際に英語で手紙を書く活動	
③	世界遺産について紹介するスピーチを作成活動	
④	世界の学校を比較したスピーチの作成活動	

### 学習上の留意点

報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

### 評価の方法

<p>報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら 3 つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び 5 段階評価を決定する。</p>
--

2026年度 ID 学園高等学校 通信教育実施計画（シラバス）

教科	英語	科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2
報告レポート	6	メディアレポート	6	スクーリング	4
単位認定試験	1月	使用教科書	「NEW FAVORITE English Logic and Expression III」(論Ⅲ701)		

目標

支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、目的や場面、状況などに応じて、多様な語句や文を適切に用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを整理して伝え、相手を説得することができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、相手を説得することができるよう、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、相手を説得することができるよう、書いて伝えることができる。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	Lesson1～2	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① 議論する、提案するときの表現 ② 個人的なことについて書く、気持ちを伝えるときの表現	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	Lesson3	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① 助言する、行動を促すときの表現	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	Lesson4～5	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① 主張する、仮定するときの表現 ② 基本情報を伝える、詳細を伝えるときの表現	6/16 ～ 7/15	7/15
第4回	Lesson6～7	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① 見た目を描写する、イメージを伝えるときの表現 ② 特長を説明する、説得するときの表現	7/16 ～ 9/15	9/15

第5回	Lesson8~9	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① できごとについて物語る、読み手をひきつけるときの表現 ② 分析する、評論するときの表現	9/16 ~ 10/15	10/15
第6回	Lesson10	次の項目についての表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく書き伝える技能を身に着ける ① 立論する、反駁する、意見をまとめて再主張するときの表現	10/16 ~ 11/15	11/15

メディア レポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 議論する、提案するときの表現 ② 個人的なことについて書く、気持ちを伝えるときの表現	5/15
第2回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 助言する、行動を促すときの表現	6/15
第3回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 主張する、仮定するときの表現 ② 基本情報を伝える、詳細を伝えるときの表現	7/15
第4回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 基本情報を伝える、詳細を伝えるときの表現 ② 特長を説明する、説得するときの表現	9/15
第5回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① できごとについて物語る、読み手をひきつけるときの表現 ② 分析する、評論するときの表現	10/15
第6回	次の表現の形・意味・用法を理解する。 ① 立論する、反駁する、意見をまとめて再主張するときの表現	11/15

スクーリング		
内容		実施期間
①	議論する、提案する表現を学ぶ	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月
②	主張、仮定、基本情報、詳細を伝える表現を学ぶ	
③	特徴を説明、説得、分析、評論する表現を学ぶ	
④	立論、反駁、意見をまとめて再主張する表現を学ぶ	

### 学習上の留意点

報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

### 評価の方法

<p>報告レポート・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。</p> <p>スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。</p> <p>単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。</p> <p>これら 3 つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び 5 段階評定を決定する。</p>
--

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2
報告レポート	4	メディアレポート	4	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	家基 901 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）		

目標
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<家族・社会との共生> 人生、家族・家庭、法律について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。</li> <li>・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。</li> <li>・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。</li> <li>・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。</li> <li>・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<家族・社会との共生> 子どもと共に育つ・超高齢社会を共に生きる・共に生き、共に支える <生活の自立> 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。</li> <li>・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。</li> <li>・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。</li> <li>・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	<生活の自立> 衣生活をつくる・住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。</li> <li>・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。</li> <li>・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。</li> <li>・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。</li> <li>・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

第4回	<生活の自立> 経済生活を営む・持続可能な生活を営む <生活の創造> これからの生活を創造する	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるかを考えて実践しようとする。	7/16 ~ 9/15	9/15
-----	--	--	-------------------	------

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	<家族・社会との共生>人生、家族・家庭、法律について	5/15
第2回	<家族・社会との共生>子どもと共に育つ・超高齢社会を共に生きる・共に生き、共に支える <生活の自立>食生活をつくる	6/15
第3回	<生活の自立>衣生活をつくる・住生活をつくる	7/15
第4回	<生活の自立>経済生活を営む・持続可能な生活を営む <生活の創造>これからの生活を創造する	9/15

スクーリング		
内容	実施期間	
① 食生活の課題について考えよう/経済生活を営む	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月	
② 食生活の課題について考えよう/経済生活を営む	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月	

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。 ・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。
スクーリング	・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。 ・他者と協働することでその態度の育成に努める。 ・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。
単位認定試験	・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。 ・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。

## 評価の方法

報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。  
スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、  
学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。  
単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2
報告レポート	4	メディアレポート	4	スクーリング	2
単位認定試験	1月	使用教科書	情 I 901 一新編一 情報 I (東京書籍)		

目標
情報や情報技術の仕組みおよび、果たしている役割や及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できるようになる。

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報とメディアの特性</li> <li>問題解決の流れ</li> <li>発想法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の特性から、情報とは何か理解できる。</li> <li>情報やメディアの特性を理解できる。</li> <li>問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。</li> <li>問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解できる。</li> <li>ブレインストーミング、KJ法の手法を身につけている。</li> <li>粘り強く、多様な意見をまとめようとしている。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル</li> <li>個人情報</li> <li>著作権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に関する法規や制度があることを理解できる。</li> <li>個人情報とはどのようなものか理解できる。</li> <li>個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。</li> <li>情報モラルに配慮して情報を発信することができる。</li> <li>SNS等で加害者や被害者にならないための対応が判断できる。</li> <li>セキュリティ上よいとされるパスワードはどのようなものか判断できる。</li> </ul>	5/16 ～ 6/15	6/15
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル表現</li> <li>情報デザイン</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報デザインの目的を理解できる。</li> <li>構造化、抽象化、可視化の方法を理解できる。</li> <li>情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。</li> <li>粘り強く、分かりやすい文書を作ろうとしている。</li> <li>ユニバーサルデザインについて理解できる。</li> </ul>	6/16 ～ 7/15	7/15

第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータとは何か</li> <li>・ネットワークとインターネット</li> <li>・ソフトウェアの仕組み</li> <li>・データの形式</li> <li>・プログラミングについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの基本構成を理解できる。</li> <li>・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。</li> <li>・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。</li> <li>・プログラミング言語の種類を理解できる。</li> <li>・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。</li> </ul>	7/16 ～ 9/15	9/15
-----	--	---	-------------------	------

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
第1回	メディアの特性と発想法	5/15
第2回	情報モラル、個人情報、著作権などの法律	6/15
第3回	デジタル表現と情報デザイン	7/15
第4回	コンピュータ・ネットワークの仕組みとプログラミングについて	9/15

スクーリング		
	内容	実施期間
①	情報モラルと法律	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月
②	ブレインストーミング、KJ法によって身近な問題を解決してみよう	山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート メディアレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の要点を中心にまとめられたレポートを提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、教科書やメディアレポート動画・報告レポート解説動画を用いて、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野・東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨にて実施するので、いずれかの会場に登校し、受験する。</li> <li>・試験問題は主に、レポートの内容に基づいて出題される。</li> </ul>

## 評価の方法

報告・メディアレポート：全てのレポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。  
スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、  
学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。  
単位認定試験：所定以上の得点を収める必要がある。

これら3つを総合的に判断し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価及び5段階評定を決定する。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間I	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢教育の概要①</li> <li>自己と向き合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢教育の前提となる人としての生き方について学習し、実践できるように理解を深める。</li> <li>ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</li> </ul>	4/15 ~ 5/15	5/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※総合的な探究の時間Iのメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① <ul style="list-style-type: none"> <li>夢教育の前提となる人としての生き方・考え方の内容を理解する。</li> <li>夢教育の前提となる人としての生き方・考え方を自分の生活が豊かになるように、活用できるマインドを身につける。</li> </ul>	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。

## 2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間2	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育の概要②</li> <li>・夢手帳をもとに自己と向き合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について学習し、実践できるように理解を深める。</li> <li>・夢手帳をもとになりたい自分を捉える。</li> </ul>	5/16 ~ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	学習内容	提出期限
	※総合的な探究の時間2のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について学習し、実践できるように理解を深める。</li> <li>・夢7原則をもとに逆算思考について理解を深める。</li> </ul>	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間3	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育③</li> <li>・探究テーマの見つけ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育の前提となる人としての生き方・考え方を学び、自分に置き換えて考え実践できるようにする。</li> <li>・探究への関心を高める。</li> </ul>	<p>4/15 ～ 5/15</p>	5/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	学習内容	提出期限
	※総合的な探究の時間3のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育の前提となる人としての生き方・考え方を自分ごとに置き換えて考える。</li> <li>・探究テーマの見つけ方。</li> </ul>	<p>キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月</p>

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間4	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢教育の概要④</li> <li>進路について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について学習し、実践できるように理解を深める。</li> <li>自分の将来について向き合う。</li> </ul>	5/16 ~ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習内容</th> <th>提出期限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">※総合的な探究の時間4のメディアレポートはありません</td> </tr> </tbody> </table>	学習内容	提出期限	※総合的な探究の時間4のメディアレポートはありません	
学習内容	提出期限				
※総合的な探究の時間4のメディアレポートはありません					

スクーリング	
内容	実施期間
① <ul style="list-style-type: none"> <li>「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について自分ごとに置き換えて考える。</li> <li>自分の将来について考える。</li> </ul>	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間5	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育③</li> <li>・探究テーマの見つけ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育の前提となる人としての生き方・考え方を学び、自分に置き換えて考え実践できるようにする。</li> <li>・探究への関心を高める。</li> </ul>	4/15 ～ 5/15	5/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	学習内容	提出期限
	※総合的な探究の時間5のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢教育の前提となる人としての生き方・考え方を自分ごとに置き換えて考える。</li> <li>・探究テーマの見つけ方。</li> </ul>	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出期限内に提出する。</li> <li>・添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>・他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>・学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。

2026年度 ID学園高等学校通信教育実施計画（シラバス）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間6	単位数	
報告レポート	1	メディアレポート	—	スクーリング	1
単位認定試験	—	使用教科書		—	

目標
<p>(1) 夢教育の前提となる人としての生き方・考え方、夢7原則、七つの約束、夢の方程式について学習し、実践できるように理解を深める。</p> <p>(2) ものごとを多角的に捉えられる視点をもてるようにする。</p>

報告レポート	学習内容	学習目標	学習期間の目安	提出期限
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢教育の概要④</li> <li>進路について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について学習し、実践できるように理解を深める。</li> <li>自分の将来について向き合う。</li> </ul>	5/16 ~ 6/15	6/15

メディアレポート	使用メディア：メディアレポート動画・報告レポート解説動画	
	学習内容	提出期限
※総合的な探究の時間6のメディアレポートはありません		

スクーリング	
内容	実施期間
① <ul style="list-style-type: none"> <li>「夢7原則」、「七つの約束」、「夢の方程式」について自分ごとに置き換えて考える。</li> <li>自分の将来について考える。</li> </ul>	キャンパススクーリング：5月～12月 長野スクーリング：5月～12月 静岡スクーリング：6月 関西スクーリング：6月 山梨スクーリング：9月・12月 首都圏集中スクーリング：7月・12月

学習上の留意点	
報告レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限内に提出する。</li> <li>添削指導を受けた箇所は、復習を行う。</li> </ul>
スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、基礎・基本の知識・技能の理解と定着を図る。</li> <li>他者と協働することでその態度の育成に努める。</li> <li>学習方法について学び、自宅での学習に役立てる。</li> </ul>
単位認定試験	※単位認定試験は実施しません

## 評価の方法

報告レポート：レポートを提出期限内に提出し、合格することが必要である。

スクーリング：実施校または通信教育連携協力施設で行われるスクーリングに設定時間以上出席し、学びを深め、スクーリング報告レポートに合格することが必要である。

これら2つを満たした場合、年度末に単位認定を行う。

※観点別評価・評定の決定はない。